

内閣府 閣内 沖繩総合事務局

那覇第2地方合同庁舎3号館完成・供用



キャノピー東側



エントランスホール



8階 執務室

内閣府沖繩総合事務局開発建設部が那覇新都心シビックコア地区の中核施設として整備を進めていた那覇第2地方合同庁舎3号館が完成し、供用を迎えた。耐震性能不足などが課題となっていた4官署を集約し、災害対応拠点の機能を強化。施工に当たっ

ては生産性の向上に向け多様な新技術を導入し、週休2日をはじめとする働き方改革にも積極的に取り組んだ。3号館の完成によりシビックコア地区の全ての施設整備が完了。那覇新都心の魅力とにぎわいのさらなる向上に寄与することが期待される。



シビックコア地区の全施設整備完了



内閣府沖繩総合事務局 開発建設部長 中原 正顕

平成11(1999)年の那覇市シビックコア地区整備計画から25年、本庁舎の整備をもって那覇第2地方合同庁舎全ての整備が完了するとともに、那覇新都心シビックコア地区の全ての整備が完了しました。

地域交流、災害対応の拠点に

新庁舎の整備にあたっては、災害応急対策活動拠点としての機能確保や環境などに配慮するとともに、地元自治体や有識者の方々による地域連携検討会にて地域連携策を決定するなど、さまざまな意見を整備に反映させていただきました。

本庁舎が、入居する職員にとって働きやすい環境となるだけでなく、地域の方々にとって平常時は交流の場、災害時は情報提供や一時避難場所として役立つことを期待しております。これらを通じて、地域のさらなる発展に寄与できることを願っております。

最後になりましたが、地元の皆さまをはじめ、数多くの方々のご理解とご協力をいただきましたことにより感謝申し上げます。

設計コンセプト

那覇第2地方合同庁舎3号館には、災害対応に従事する沖縄気象台や当局南部国道事務所など4官署が入居します。これらの官署はもともと分散しており、それぞれ耐震性の不足などの施設上の課題を抱えていたことから、大規模災害の発生に備えた災害応急対策活動の拠点としての耐震安全性を確保した3号館を整備し、これらの官署を集約することで災害発生時の連携の強化を図りました。

平面計画は、2号館と隣接する南側にコアを設け、北側の執務空間はロングスパンのP C梁により無柱空間として、フレキシブルに使えるように計画しています。また、環境負荷低減のため、太陽光パネルやLED照明などの採用、庇(ひさし)やルーバーによる日射の抑制・熱負荷の低減、高効率な冷凍機の採用などさまざまな取り組みを行っています。

キャノピー緑化し重層的街並み形成

外構は、人通りの多い3号館の東側(中環状線側)に歩行者のための空間を確保し、1号館から3号館までをつなぐ通路(キャノピー)は市民の方が自由に通り抜けられることができるようになっています。外構やキャノピー上部には緑化を施し、新都心公園から緑が連続した街並みを形成しています。3号館の西側は駐車場で、整形に十分な広さを確保することで災害対応などの多目的な利用が可能な計画としています。

大規模災害の発生時には、エントランスと外構部分に帰宅困難者が一時的に滞在することができるようになっており、エントランスでは気象などの災害情報を得られるようになっています。また、車庫にはマンホールトイレを、バス待合所にはかまどベンチを設置しています。整備にあたっては、業務・工事受注者の皆さまのご尽力はもとより、3号館に入居する官署の皆さま、地域連携検討会やユニバーサルデザインレビューにご参加いただいた皆さま、アンケートにご協力いただきましたおもしろまち自治会の皆さま、工事中にご不便をおかけした近隣住民や1・2号館に入居している皆さまなど、大変多くの方々へ長期間にわたりご理解とご協力をいただきましたことをこの場をお借りして御礼申し上げます。

内閣府沖繩総合事務局開発建設部管理課長 内藤大哲

新都心のにぎわい、魅力向上へ



武道場

合和(2021)年9月に着工した那覇第2地方合同庁舎3号館整備事業は、このたび令和6(2024)年9月に完成を迎えました。本事業では、庁舎の施工に先立ち、不発弾調査(磁気探査)を実施しました。先の大戦で激戦地であった当該敷地からは調査により7発の不発弾などが発見されましたが、自衛隊のご協力のもと安全に無事除去処理することができました。庁舎全体の施工段階においては、生産性向上技術の活用や働き方改革を後押しする取り組みを積極的に実施し、業務効率化を図るとともに、工期短縮と省力化を実現しました。生産性向上のため、発注者の指定により、施工BIIMを活用した複雑な部材の取り回しや、部材などにおける納まりの検討や干渉のチェック、関係者間で施工手順の共有をはじめ、ICT建築士やデジタル配筋検査の試行などを実施しました。また、受注者からの技術提案により、外壁施工におけるハーフプロセスの採用や資機材の自動運搬、自動清掃ロボット、作業負担軽減する作業支援アシストスーツの導入など、さまざまな生産性向上技術を活用いただきました。

さらに、働き方改革の取り組みとして、建築、電気設備、機械設備およびエレベーターの各工事は「週休2日促進工事」として発注を行い、いずれの工事も通期の週休2日を達成しました。また、工事契約後の賃金水準や物価水準の変動により賃金額が不適当になった際に適用される「工事請負契約書第26条(いわゆるスライド条項)」に基づいて、適切な請負金額に変更したほか、建設キャリアアップシステム(CCS)の活用を推進

多様な生産性向上技術を積極活用

施工のポイント

工事概要

- 工事名称: 那覇第2合同3号館 (R3) 建築工事
- 那覇第2合同3号館 (R3) 電気設備工事
- 那覇第2合同3号館 (R3) 機械設備工事
- 那覇第2合同3号館 (R3) エレベーター設備工事
- 建設地: 沖縄県那覇市おもろまち2丁目1番1号
- 発注者: 内閣府沖繩総合事務局開発建設部
- 設計: 株式会社 梓設計九州支社
- 工事監理: 有限会社 造家設計研究室
- 施工: 建築工事 株式会社 鏡高組
- 電気設備工事 中電工・三協電気工事特定建設工事共同企業体
- 機械設備工事 菱和・大成温特定建設工事共同企業体
- E V設備工事 沖縄愛電ビルシステム株式会社
- 工期: 2021年10月～2024年9月
- 建築面積: 1,845㎡(庁舎のみ、別途分棟車庫、駐輪場あり)
- 構造・規模: R C造 地下1階、地上9階 (P H 1階あり)
- 延床面積: 14,800㎡(庁舎のみ、別途分棟車庫、駐輪場あり)
- 入居官署: 沖繩総合通信事務所、沖繩地区税関、沖繩気象台、沖繩総合事務局南部国道事務所

このほか、工事受注者の皆さまには、建築を志す学生を対象とした現場見学会のほか、地元小学生が描いた絵や作業進捗などを紹介するデジタルサインを仮囲いに掲示・設置するなどの建設業のイメージアップ、担い手確保に向けた取り組みや施工段階におけるユニバーサルデザインレビューの実施にも積極的に協力いただきました。約3年にわたる長い期間、大変多くの方のご理解と協力をいただきました。ながら本事業は進められてきました。ここに、工事期間中に関係されたすべての皆さまのおかげをもちまして、本工事が完成できたことをご報告させていただきますとともに、心から感謝申し上げます。

内閣府沖繩総合事務局開発建設部 管理監督保全室長 長浜政明



パーゴラ



左から那覇第2地方合同庁舎1号館、2号館、3号館

建築工事



銭高組

本社: 東京都千代田区一番町 31

社長 銭高 久善

- OA フロアー工事 株式会社 いしかわ文明堂
- 磁気探査 有限会社 沖繩基礎開発
- 防水工事 沖繩古賀防水工業 株式会社
- 左官工事 有限会社 沖繩左官商会
- シャッター工事 沖繩三和シャッター 株式会社
- 木工事・家具工事・建具工事 有限会社 親泊木工

- 揚重工事 有限会社 金功重機
- PC 緊張工事 株式会社 建研九州営業所
- 土工事 株式会社 国際重機
- PC 工事 佐久本工業 株式会社
- 仮設電気工事 三喜産業 株式会社 九州支店
- 型枠工事 株式会社 COS

- 塗装工事 株式会社 新輝塗装店
- 金属工事 株式会社 新拓沖繩
- 金属・雑工事 株式会社 陣山商会
- 外構工事 世紀東急工業 株式会社 九州支店
- 仮設工事 株式会社 大興鋼業
- 杭工事 大洋基礎 株式会社 福岡支店

- 鉄筋工事 株式会社 高安工務店
- 金属製建具工事 テクノスマタル工業 株式会社
- 造園工事 株式会社 桃原農園
- 内装工事 株式会社 ナイン
- 蔦工事 株式会社 中原組
- 金属工事(アルミパネル、アルミハニカム庇) 日新建材 株式会社 九州事務所

- 金属工事 株式会社 日本建産
- 鉄骨工事 羽柴工業 株式会社
- 仮設給排水工事 株式会社 丸和産業
- PC 工事 翠興産 株式会社
- 塗装工事 株式会社 保村塗装店
- アルミニウム製建具工事 株式会社 LIXIL